

## あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

●平成23年9月定例会 ●一般質問

遠藤 智 議員 畑中 大子 議員

### 復旧・復興に向けての住民説明会を実施せよ

町の復興計画・除染計画には、十分に住民の意向を反映させなければなりませんので、そのための住民説明会を開催すべきではないですか。

### 説明責任を果たせ

復興、帰還に向けての取り組みが町民に伝わっていないため、住民説明会を開催すべきでないですか。

### 10月下旬を目標に開催する

町の復旧、復興には町民の協力が不可欠です。帰還時期を含め、10月下旬を目標に住民説明会を開催いたします。

### 住民説明会を5会場で開催

10月27日から11月1日までの4日間、いわき市と広野町で住民説明会が開催されました。9月30日に、緊急時避難準備区域が解除されたことにもない、町の復旧計画などを説明し、町民の皆様の意見や要望を聞きました。



▲広野中学校体育館で行われた住民説明会

# 4人の議員が町政を問う

# 一般質問席

一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について事実の説明を求めたり、所信を問いただすものです。

一般質問席（広野町議会議場）



遠藤 智 議員

## 仮置き場管理マニュアルを作成せよ

山田町長／冊子を作成し配布する

### 遠藤

仮置き場の使用・管理を適切に行うため、種類に応じた放射線量の基準設定や、定期的なモニタリング結果を公表することなどを定めた「管理マニュアル」を作成し、住民説明会を通して理解を頂くべきではないですか。

### 町長

周辺環境への影響を少なくするため、専門業者による定期的なモニタリングを実施し、結果についても広報等で定期的に公表していきたいです。

また、町民の理解と協力を頂くため、冊子を作成したので、全世帯に配布します。

## 駅東側地区の復旧・復興いかに

山田町長／あらゆる可能性を求めていく

### 遠藤

①津波により家屋が流出した町民に対し、今後どのような仮の住宅を提示するのですか。  
②現在地に居住を希望する町民に対し安全対策はいかに行い、移転を希望する町民には、どのような施策を講じていくのですか。  
③駅東側地区の展望は、今後どのように構築していくのですか。

### 町長

①町内に建設する仮設住宅は、木造タイプで、畳の部屋、暖房便座および二重サッシの設置についても県に要望しています。  
②当該地域への居住希望者に対しては、高さ8・7メートルの防波堤にするとともに、広野小高線の整備と防災緑地の多重防御によ

り、津波被災地全域の安全対策を講じていきます。

また、移転希望者には、小規模団地大吹地区のほか公有地の活用を早急に検討していきます。  
③広野駅東側を含め、当町全域の土地利用のあり方について、あらゆる可能性を求め、情報収集を行っていきます。

## 内部被ばく健康調査に努めよ

山田町長／身近で継続的に受診できるよう要望する

### 遠藤

町は、民間病院と契約を結び、町民が被ばく健康調査を受診できる機会を確保すべきではないですか。

### 町長

11月に平田村の医療機関と、内部被ばく検査の協定を結び、12月から受診できるようになりました。  
また、身近で継続的に受診ができるよう町内への健診施設の整備を要望しています。

## 除染に関する基本条例を制定せよ

山田町長／新たな条例制定は考えていない

### 遠藤

避難生活から帰還し、健康で健全な生活をしていくために「除染に関する町基本条例」を制定すべきではないですか。

### 町長

広野町放射線物質除染実施計画は、1月に完全実施される「放射性物質汚染対処特措法」の法定計画と位置づけているため、新たな条例の制定は考えていません。